

## 看護政策論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 特任准教授		
担当講座・学科(分野)	看護学部		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12時間
期間	前期		
単位数	1単位		

### ・学習方針（講義概要等）

看護制度と看護サービスの関連について学び、看護政策の基本的な考え方を学修する。そして、制度が創られてきた政策過程を学ぶことにより政策的思考を身に付ける。具体的には、これまでの看護学実習等を通して認識した看護サービスの課題を明確にし、その課題と関連する制度の理解を深め、そして制度を変革する過程で必要となる政治、行政および団体などの社会の力動関係を学修する。そして課題解決策について、社会的制約や妥協点を考え、実現可能な提言をまとめることにより、制度を変革するための基本的な考え方を身に付ける。

### ・教育成果（アウトカム）

国民のニーズに応じた質の高い看護を提供する観点から、看護職が政策過程に関わる意義について理解できる。さらには、国や自治体における保健医療福祉施策の現状と課題を俯瞰し、看護職が政策過程に関わる実際について説明できる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：ディプロマ・ポリシー：3, 4, 7, 8

### ・到達目標（SBO）

1. 我が国の社会保障政策の現状と課題について理解できる。
2. 看護職が政策過程に関わる目的と役割について理解できる。
3. 行政機関における政策過程の実際と看護職の関わりについて理解できる。
4. 社会的ニーズに応じた事業企画の実際について説明できる。

・授業日程

(矢) トクタヴェール講義室 2

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/7	水	2	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	社会保障制度と政策過程 【双方向授業とグループワーク】 ・我が国の社会保障制度について理解できる。 ・看護職が政策に関わる意義について説明できる。
4/14	水	2	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	看護行政組織と機能 【双方向授業とグループワーク】 ・我が国の看護行政組織と機能、役割について理解できる。
4/21	水	2	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	都道府県における政策 【双方向授業とグループワーク】 ・都道府県における看護職が関わる政策過程について理解できる。
4/28	水	2	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	市町村における政策 【双方向授業とグループワーク】 ・市町村における看護職が関わる政策過程について理解できる。
6/9	水	2	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	事例に係るアセスメント 【双方向授業とグループワーク】 ・看護職が関わる事例に関し、現状並びに課題を整理することができる。

6/16	水	2	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	事例に係る事業企画 【双方向授業とグループワーク】 ・看護職が関わる事例に関し、課題解決に向けた事業企画を行うことができる。
6/23	水	2	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	事例に係る事業提案 【双方向授業とグループワーク】 ・看護職が関わる事例に関し、課題解決に向けた事業提案を行うことができる。
6/30	水	2	看護学部	工藤 一恵 非常勤講師	講義の振り返りとまとめ 【双方向授業とグループワーク】 ・看護職の政策過程に係る必要な技術について振り返り、説明することができる。

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	令和2年版 厚生労働白書	厚生労働省編	日経印刷株式会社	2020
参	国民衛生の動向 2020/2021 (第67巻第9号)	一般財団法人 厚生労働統計協会編	一般財団法人 厚生労働統計協会	2020

・成績評価方法

以下のとおり、レポート並びに講義中の態度について総合的に評価を行う。

- 1 レポート提出 60%
  - ・講義終了後、学修した内容に係るレポートを作成し、講師が指示した期日までに提出する。
- 2 講義中の態度 40%：
  - ・レスポンスカードの提出 (15%)
  - ・グループワークにおける積極的態度 (15%)
  - ・傾聴態度 (10%)

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

1. 事前学修は、各回の内容と到達目標を確認し、参考文献等を用いて行うこと。
2. 事後学修は、配布した資料並びに参考文献等を基に振り返りを行うこと。
3. なお、事前、事後学修の時間は、概ね 30 分程度とする。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

1. 本科目では、看護政策を理解するための概念と実践例について、双方向授業とグループワークによって学ぶ。なお、講師より資料を配布するので教科書は使用しない。
2. 講義中にスマートフォン等を活用した課題に取り組んでもらうことから、指示があった場合には、インターネットに接続できるよう準備しておくこと。
3. 課題については学生間での振り返りの時間を設け、知識の理解・向上を図る機会とする。
4. 各回の講義で得た学びや疑義は、レスポンスカード（300 字程度）に記載し、講義時間内に提出する。解説とフィードバックについては、次回講義時に行う。
5. レポート課題並びに提出方法は、最終回に指示する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践  
保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護管理論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（EPSON EB-L610WVPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（ELMO PX-10）	1	講義用資料投影